

2016年度 大学研究ブランディング事業研究一覧

No.	研究班名	代表者 (A. 個人研究 B. 共同研究)		研究分野	研究概要
1	次世代を担う若者に向けた、新たな「キャリア教育」「労働法・労働社会」「医療制度の拡充」の再構築のための検証	山代 寛	B. 共同	A. 雇用と労働（就労支援や職場開拓等）	既存のキャリア教育がブラックバイトやブラック企業への就職を下支えしているという分析がある。違法・不当な状況に追い込まれても権利主張に委縮する、労働法の機能不全の問題の背景には、日々の生活に追われて、医療保障制度を効果的に享受することなく、これまで成長してきたというライフイベントも垣間見れる。本研究は、このような問題状況に「キャリア教育」「労働(法・社会学)」「医療」の視点からアプローチしていく。
2	沖縄の若者をめぐる雇用問題の把握と、企業の先進的取り組み事例の調査・研究 —取り組み事例と企業業績データとの関連性の検証分析から—	島袋隆志	B. 共同	A. 雇用と労働（就労支援や職場開拓等）	本研究は、非正規雇用の正規転換等、雇用環境の改善に取り組む沖縄地域の企業経営者・担当者、および職場へのヒアリング調査と当該企業の業績動向との関連性の分析から、「人と企業とが共に成長できる雇用へ」という地域風土・文化への転換・再構築を行う。
3	子どもの貧困に対する沖縄児童文学の可能性	我部 聖	A. 個人	B. 教育（学校と地域の連携等）	本研究では、貧困等の問題に直面する子どもたちが沖縄の児童文学を読むことの可能性を探るために、児童文学作品の収集やデータ化を行うとともに、読み聞かせや居場所づくりと連動させながら、言葉に対する感性を育む実践につなげる。
4	子どもの居場所等の意義と連携に関する研究	島村 聡	B. 共同	C. 福祉（子どもの居場所の効果等）	本研究は、県内に一挙に広がった子どもの居場所や学習支援、子ども食堂といった社会資源が真に子ども個々の自己効力感を引き上げて、結果として貧困から抜け出す成果を上げるために必要な要素と資源間の連携のあり方を明らかにするものである。

研究分野内訳

A. 雇用と労働（就労支援や職場開拓等）	2 件
B. 教育（学校と地域の連携等）	1 件
C. 福祉（子どもの居場所の効果等）	1 件